



## 第61期 中間報告書

2007.3.1 ▶ 2007.8.31

株式会社 オンワードホールディングス

証券コード NO.8016



代表取締役会長兼CEO  
廣内 武



代表取締役社長  
上村 茂

## 株主の皆様へ

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

また、平素より格別のご支援をいただき、心から感謝を申し上げます。

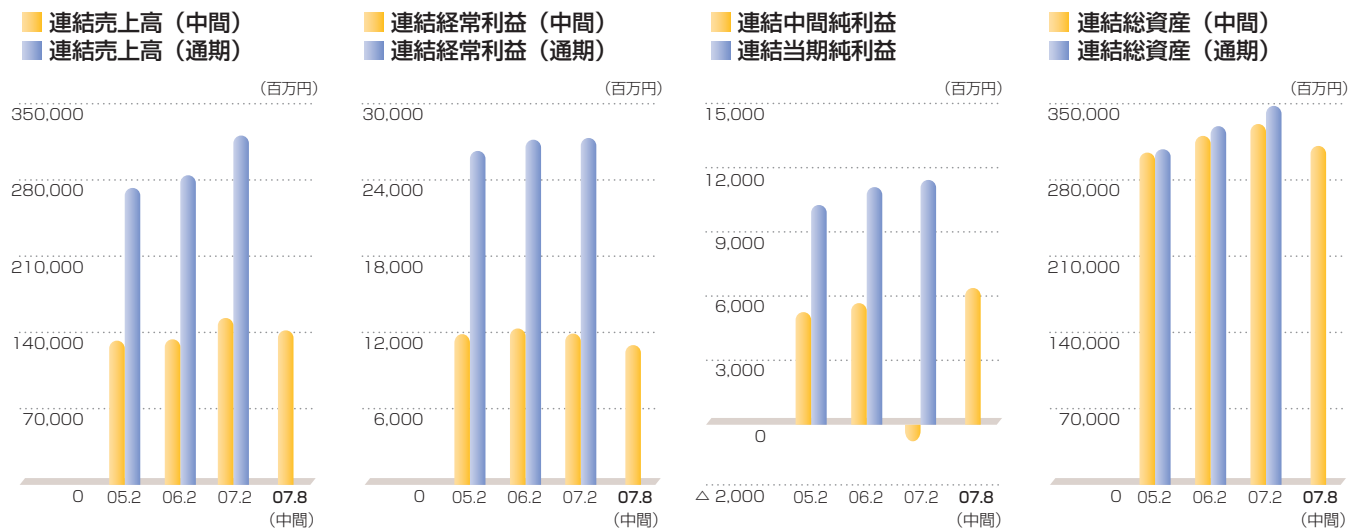
さて、ここに当社第61期上半期（平成19年3月1日から平成19年8月31日まで）の事業の概況等をご報告申し上げます。

当社グループは、グループ経営力の強化、成長戦略の加速をはかるために、平成19年9月1日から純粋持株会社によるホールディングス体制に移行いたしました。

今後は、監督機能と執行機能の分離によってガバナンス体制を強化するとともに、各事業会社の責任と権限の明確化によって、スピード感のある経営を推進し、企業価値の向上をめざしてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご理解とご支援を心よりお願い申し上げます。

# Financial Highlight



(百万円)

	2005.2	2006.2	2007.2	2007.8 (中間)
連結売上高	271,273	283,110	318,690	140,836
連結経常利益	26,283	27,167	27,407	10,948
連結中間 (当期) 純利益	10,256	11,091	11,438	6,357
連結総資産	308,170	329,403	347,936	310,963
連結純資産	202,376	203,826	225,138	199,338
連結 1 株当たり中間 (当期) 純利益 (円)	58.10	63.79	70.52	39.31

## ホールディングス体制への移行

株式会社オンワード樫山は、2007年9月1日をもって「株式会社 **オンワードホールディングス**」に商号を変更し、オンワードグループの純粋持株会社に移行いたしましたので、お知らせいたします。

オンワードグループは、持株会社体制へ移行することにより、監督機能と執行機能の分離を行い、ガバナンス体制を強化するとともに、各事業会社の責任と権限を明確にし、戦略的意思決定の迅速化をはかり、スピード感のある経営と機動的な業務執行を効率的に行ってまいります。

また、各事業会社のグループ内の再編を円滑に進めるなど共通機能の効率化や、経営資源の最適配分による経営効率のさらなる向上、各事業領域におけるビジネスの拡大により、グループとしての競争力強化と成長促進をはかり、企業価値の最大化をめざしてまいります。

私たちオンワードグループは、「人々の生活に潤いと彩りを与えるおしゃれの世界」を事業領域に定め、「ファッション」を生活文化として提案することによって新しい価値やライフスタイルを創造し、人々の豊かな生活づくりへ貢献することを経営理念としております。

### 株式会社オンワードホールディングスの概要

- 商号 株式会社オンワードホールディングス
- 本社 東京都中央区日本橋3丁目10番5号
- 代表者 代表取締役社長 上村 茂
- 資本金 300億79百万円（2007年9月1日現在）
- 決算日 2月末日
- 事業内容 純粋持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附随する業務

URL <http://www.onward-hd.co.jp/>



## 当中間期の事業環境と業績全般について

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、企業収益の拡大や民間設備投資の増加などを背景に景気は緩やかな回復基調で推移したものの、個人消費は盛り上がりには欠け依然厳しい情勢が続きました。

当アパレル業界におきましては、消費トレンドの多様化、急激な変化に加え、春先の低気温や梅雨明けの遅れなど天候不順の影響もあり、全体的には低調に推移いたしました。

このような経営環境のなか、株式会社オンワード樺山は「ブランド軸経営」を基本戦略に、収益力の向上を重点にした基盤力強化をさらに進めるため、企画部門と生産部門が一体となった組織に改め、市場の変化に素早く対応する商品供給体制づくりを推進いたしました。また、積極的な新規ブランドの開発によりマーケットに対し新たな提案を行いました。結果的には計画どおりの成果が上がりず課題を残しました。その他の国内および海外の子会社は、概ね計画どおりの推移で、そのなかで



「組曲」



「23区」

も特にグローバル戦略の要となる欧州のジボコーグループが大幅な収益拡大を実現することができました。加えて、今後の成長が見込めるアジア地域も、順調に推移いたしました。

また、子会社でありました株式会社インパクト二十一の全株式を売却し、当第1四半期より当社の連結子会社から外れております。以上の結果、当中間期における連結業績は下記のとおりとなりました。

### ● 第61期（2008年2月期）の中間連結業績実績

売上高	1,408億36百万円（前年同期比8.0%減）
経常利益	109億48百万円（前年同期比8.0%減）
中間純利益	63億57百万円（前年同期5億34百万円の損失）

### ● 事業セグメント別の概況

#### 〔衣料品等繊維製品事業〕

国内につきましては、株式会社オンワード樺山において「ブランド軸経営」の推進を行うとともに、今期の基本方針である「基盤力の強化」と「新ブランドの開発と育成」などを実施い

## Review of Operation

たしました。基盤力の強化につきましては、「23区」「組曲」などの大型基幹ブランドにおいて企画精度の向上による適時・適品の供給体制の強化を推進いたしました。新ブランドにつきましては、百貨店流通において、異なるターゲットに向けた複数の婦人ブランドを展開いたしました。売上計画と大きく乖離し、収益の悪化を招くとともに経営資源の分散化により既存の基幹ブランドにもマイナスの影響を与えました。加えて、百貨店衣料品市場の低迷を受けて、前年実績を下回る結果となりました。

海外につきましては、欧州において、ジボコーグループが計画を大きく上回り、さらに今後の成長戦略のため、有力バッグメーカーのフラッシネティ社を加え、ファッションアイテムの総合化戦略を推進してまいります。ジョゼフグループにおきましても基盤の整備がされ今後の収益拡大が見えてまいりました。また、中国を中心とするアジアにおいても、自社開発ブランドの積極的な出店拡大を行い、計画を上回る業績を達成いたしました。北米につきましては、主力ブランド「J.プレス」の商品企画の刷新と旗艦店リニューアルを行い、収益体制に向けた基盤力強化を進めております。



「ジョゼフ」



「J.プレス」

### ●衣料品等繊維製品事業

売上高	1,314億58百万円（前年同期比 9.9%減）
営業利益	70億99百万円（前年同期比32.7%減）

### [その他の事業]

サービス関連事業につきましては、当社グループで培ったノウハウを活用してグループ外受託業務を積極化させるなど営業強化をはかりましたが、グループ内業務の再編による業務移管などを行ったことで前年実績を下回る結果となりました。

リゾート関連事業につきましては、米国グアムにおける、ホテル、ウォーターパーク、ゴルフ場を運営する総合リゾート事業を推進し、成長を伴った収益化を実現いたしました。

### ●その他の事業

売上高	93億77百万円（前年同期比31.7%増）
営業利益	3億14百万円（前年同期比14.0%減）

## 通期の見通し

今後の経済見通しにつきましては、好調な企業収益を背景に当面のところ緩やかな景気回復が持続するものと予想されます。しかしながら、サブプライムローン問題に端を発する株安や米国景気の下振れリスク、原材料の値上げ等、先行きに対する不安要因もあり、依然として予断を許さない状況が続くものと思われま

す。アパレル業界につきましては、個人消費の大幅な改善が見込めないなか、天候不順による影響や企業およびブランド間のさらなる競争激化が予想され、経営環境は厳しい状況が続くものと思われま

す。国内につきましては、株式会社オンワード樫山において、引き続き「ブランド軸経営」を確実に推進し、安定的な収益の拡大を最重要課題として取り組んでまいります。既存ブランドでは、大型基幹ブランドを中心に、経営資源を集中させ、売上と収益の拡大をはかります。また、新ブランドでは、昨年からの

開発ブランドは早期収益化に向けて統廃合を実施するとともに、下期は、新たに百貨店に向けて「ドーリーガール・バイ・アナ スイ」、新流通に向けては編集型ストアブランド「フルキヤラット・ユニゾン」をスタートさせ、両ブランドとも順調な立ち上がりとなっております。

海外につきましては、欧州、アジアの積極的な拡大をさらに推進し収益拡大をはかり、北米は来期の収益化に向けて、引き続き事業基盤の整備をはかってまいります。

### ● 第61期（2008年2月期）の連結業績予想

売上高	2,920億円（前期比 8.4%減）
経常利益	255億円（前期比 7.0%減）
当期純利益	130億円（前期比 13.7%増）



「ICB」

## 次世代ヤングカジュアルブランド 「ドーリーガール・バイ・アナ スイ」デビュー

米国デザイナーブランド「アナ スイ」のメインライセンスである株式会社伊勢丹と、ヤングをターゲットとした新しいカジュアルライン「ドーリーガール・バイ・アナ スイ」のサブライセンス契約を締結し、今秋から株式会社伊勢丹を始めとするADO（全日本デパートメントストア開発機構）加盟百貨店を主力に展開しています。百貨店で手薄なヤングゾーンで需要を創造していきます。

「ドーリーガール・バイ・アナ スイ」は、18歳～25歳の若い女性に向けた、次世代ヤングカジュアルブランドで、コンセプトは「スウィート・ヴィンテージ」。ヘルシーでクリーンなスタイリングをベースに、キュートなエレガンスアイテムとスウィートなカジュアルアイテムを組み合わせ、ヴィンテージ感のあるファッションを提案しています。



## 都市型大型ショッピングセンター向け編集型ストア 「フルキャラット・ユニゾン」デビュー



モロッコの王宮をイメージした「モロカンスタイル」をコンセプトとし、モザイク模様やレンガ造りのデコレーションを施した内装。ブランドごとの小部屋と中庭で構成し、お客様が王宮内を探索するようさまざまなブランドに出会える楽しさを演出。

「フルキャラット・ユニゾン」は、今秋からデビューした20歳の女性をターゲットとした新しいファッション業態の編集型ストアです。

同ストアは、“ミックスマーチャндаイジング レイアウト”をコンセプトに、コンテポラリーで適度なトレンド感を持ったレディスウエアやファッション雑貨、生活雑貨などの商品カテゴリーをミックスし、消費者が求めるさまざまなニーズに対応します。自社ブランドに加え、魅力ある他社商材や有名モデルのプロデュースによるコラボレーション商品、国内外からの買い付け商品など、旬なスタイリングを演出する衣料品から雑貨までの6つのブランドで売り場を構成し、選ぶ楽しさやコーディネートの広がりを提案しています。また、スタイリングの重要な要素である雑貨の構成比を高め、バッグやベルトなどのファッション雑貨から文房具やCDなどの生活雑貨までオリジナル商品や買い付け商品を取り揃えています。



# P I C S

## オンワードグループの服飾雑貨事業を拡大

株式会社J. ディレクションの設立およびイタリアのバッグメーカー・フラッシュネティ社の経営権取得を通じ、オンワードグループの国内外における服飾雑貨事業の拡大をめざします。

株式会社J. ディレクションは、服飾雑貨のセレクトショップ「モノ・エディション モーダ」などを展開する株式会社モノ・エディションと共同出資して設立した新会社で、既存店の売上拡大をはかるとともに、都市型商業施設への新規出店を加速させていきます。

フラッシュネティ社は、ジボコグループを通じて経営権を取得。今秋からジョゼフグループのオリジナルバッグを供給するほか、段階的にジボコグループの提携ブランドにおけるバッグラインの供給を進め、売上拡大をめざします。さらに将来的には、国内グループ会社のオリジナルバッグの供給も視野に入れ、オンワードグループにおける高付加価値バッグの生産拠点として事業活動していきます。



## 「自由区」「エニィファム」に新イメージキャラクターを起用



松雪泰子（まつゆきやすこ）  
佐賀県出身。

モデルとして活躍後1991年に女優としてデビューし、数多くのテレビドラマや映画に幅広く出演。  
演技派女優として最近では舞台でも活躍中。

「自由区」と「エニィファム」では、さらなる成長に向けたブランド施策の一環として、今秋から、広告宣伝を一新することで話題性の喚起をはかり、ブランドイメージの強化と売上拡大をめざします。新イメージキャラクターとして「自由区」に松雪泰子（まつゆきやすこ）さん、「エニィファム」には竹内結子（たけうちゆうこ）さんを起用しました。

松雪泰子さんの起用理由は、ファッションセンスの高さで女性から高い支持を得ていることと、モダンで洗練されている大人の女性というイメージを併せ持っていることから、「自由区」のめざすファッション性と世界観に最も相応しいと考え決定しました。また、竹内結子さんの起用理由は、「エニィファム」のターゲット女性から高い知名度があることと、親近感がありナチュラルなイメージが「エニィファム」のブランドイメージに合致していることから決定しました。



竹内結子（たけうちゆうこ）  
埼玉県出身。

1999年NHK連続ドラマ小説「あすか」のヒロイン役に抜擢後、テレビ、映画を中心に活躍中。  
日本アカデミー賞優秀主演女優賞を3年連続受賞するなど、今後ますますの活躍が期待されます。

中間連結財務諸表

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前中間期 2006年8月31日現在	当中間期 2007年8月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	138,640	111,475
現金及び預金	48,547	38,989
受取手形及び売掛金	30,049	26,243
たな卸資産	36,488	34,829
繰延税金資産	4,156	3,512
その他の流動資産	19,569	8,071
貸倒引当金	△170	△170
<b>固定資産</b>	192,723	199,487
<b>有形固定資産</b>	88,748	96,314
建物及び構築物	30,228	31,494
土地	52,942	53,785
その他の有形固定資産	5,577	11,034
<b>無形固定資産</b>	26,727	26,614
のれん	24,189	23,834
その他の無形固定資産	2,538	2,779
<b>投資その他の資産</b>	77,247	76,558
投資有価証券	42,587	51,113
長期貸付金	4,635	4,028
長期前払費用	5,127	3,147
繰延税金資産	7,937	5,944
その他の投資	17,352	13,204
貸倒引当金	△393	△880
<b>資産合計</b>	331,364	310,963

(単位：百万円)

	前中間期 2006年8月31日現在	当中間期 2007年8月31日現在
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	100,907	92,477
支払手形及び買掛金	49,850	43,250
短期借入金	26,597	26,105
未払費用	7,766	7,041
未払法人税等	7,930	7,208
未払消費税等	754	1,114
賞与引当金	3,211	3,138
役員賞与引当金	261	89
返品調整引当金	976	655
その他の流動負債	3,558	3,873
<b>固定負債</b>	17,572	19,147
退職給付引当金	2,865	3,896
役員退職金引当金	285	202
負ののれん	671	223
再評価に係る繰延税金負債	6,126	5,991
その他の固定負債	7,624	8,833
<b>負債合計</b>	118,479	111,624
<b>純資産の部</b>		
株主資本	200,746	211,174
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	50,044	50,045
利益剰余金	137,082	151,098
自己株式	△16,460	△20,048
評価・換算差額等	△7,598	△14,204
その他有価証券評価差額金	5,014	△2,006
繰延ヘッジ損益	24	14
土地再評価差額金	△10,815	△11,013
為替換算調整勘定	△1,821	△1,198
新株予約権	24	109
少数株主持分	19,712	2,258
<b>純資産合計</b>	212,884	199,338
<b>負債及び純資産合計</b>	331,364	310,963

### 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間期 2006年3月1日から 2006年8月31日まで	当中間期 2007年3月1日から 2007年8月31日まで
売上高	153,097	140,836
売上原価	84,187	77,584
売上総利益	68,910	63,252
販売費及び一般管理費	57,966	55,844
営業利益	10,943	7,407
営業外収益	1,726	4,252
営業外費用	763	711
経常利益	11,906	10,948
特別利益	4,080	6,907
特別損失	15,039	1,968
税金等調整前中間純利益	947	15,887
法人税、住民税及び事業税	7,737	5,842
法人税等調整額	△5,972	3,369
少数株主利益	△283	319
中間純利益又は純損失(△)	△534	6,357

### 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前中間期 2006年3月1日から 2006年8月31日まで	当中間期 2007年3月1日から 2007年8月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,843	3,171
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,768	△13,570
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,837	△9,348
現金及び現金同等物に係る換算差額	70	417
現金及び現金同等物の増減額(△減少)	△10,691	△19,331
現金及び現金同等物の期首残高	56,058	57,306
連結範囲の変更に伴う現金同等物の 期首残高増加額	3,093	—
現金及び現金同等物の中間期末残高	48,460	37,975

### 中間連結株主資本等変動計算書 (2007年3月1日から2007年8月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本					評価・換算差額等					新株予約権	少数株主持分	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価 差額金	為替換算 調整勘定	評価・換算 差額等合計			
2007年2月28日残高	30,079	50,045	148,953	△16,478	212,600	3,813	20	△11,012	△1,577	△8,755	72	21,220	225,138
中間連結会計期間中の変動額													
剰余金の配当			△4,216		△4,216								△4,216
中間純利益			6,357		6,357								6,357
自己株式の取得				△3,573	△3,573								△3,573
自己株式の処分		△0		4	3								3
土地再評価差額金取崩額			0		0								0
連結子会社の増加			2		2								2
株主資本以外の項目の 中間連結会計期間中の変動額(純額)						△5,820	△6	△0	379	△5,448	37	△18,962	△24,373
中間連結会計期間中の変動額合計	—	△0	2,144	△3,569	△1,425	△5,820	△6	△0	379	△5,448	37	△18,962	△25,799
2007年8月31日残高	30,079	50,045	151,098	△20,048	211,174	△2,006	14	△11,013	△1,198	△14,204	109	2,258	199,338

## Main Consolidated Subsidiaries

### 主要な連結子会社

オーク株式会社

チャコット株式会社

バスストップ株式会社

アクロストラנסポート株式会社

株式会社オンワードクリエイティブセンター

株式会社ブックレット

株式会社オンワードライフデザインネットワーク

株式会社オーアンドケー

オンワードビーチリゾートグアムINC.

ジェイプレスINC.

ジョゼフLTD.

ジボコーS.P.A.

フリードオブロンドンLTD.

恩瓦德時尚貿易（中国）有限公司



中間個別財務諸表

中間個別貸借対照表

(単位：百万円)

	前中間期 2006年8月31日現在	当中間期 2007年8月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	73,037	67,367
うち現金及び預金	9,264	18,431
うち受取手形及び売掛金	18,469	18,144
うちたな卸資産	24,961	23,358
固定資産	179,232	186,787
有形固定資産	64,036	63,711
無形固定資産	2,304	2,382
投資その他の資産	112,891	120,693
<b>資産合計</b>	<b>252,269</b>	<b>254,155</b>
<b>負債の部</b>		
流動負債	53,212	48,139
固定負債	16,511	20,059
<b>負債合計</b>	<b>69,724</b>	<b>68,199</b>
<b>純資産の部</b>		
株主資本	188,558	199,030
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	51,553	51,552
利益剰余金	124,510	138,569
自己株式	△17,585	△21,171
評価・換算差額等	△6,038	△13,184
その他有価証券評価差額金	4,766	△2,139
繰延ヘッジ損益	11	△31
土地再評価差額金	△10,815	△11,013
新株予約権	24	109
<b>純資産合計</b>	<b>182,544</b>	<b>185,956</b>
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>252,269</b>	<b>254,155</b>

中間個別損益計算書

(単位：百万円)

	前中間期 2006年3月1日から 2006年8月31日まで	当中間期 2007年3月1日から 2007年8月31日まで
<b>売上高</b>	<b>105,069</b>	<b>102,986</b>
売上原価	56,845	56,304
<b>売上総利益</b>	<b>48,224</b>	<b>46,681</b>
販売費及び一般管理費	40,394	40,975
<b>営業利益</b>	<b>7,830</b>	<b>5,705</b>
営業外収益	2,735	3,040
営業外費用	114	450
<b>経常利益</b>	<b>10,450</b>	<b>8,295</b>
特別利益	4,063	14,699
特別損失	13,552	4,547
<b>税引前中間純利益</b>	<b>960</b>	<b>18,448</b>
法人税、住民税及び事業税	5,557	2,602
法人税等調整額	△4,007	5,997
<b>中間純利益又は純損失（△）</b>	<b>△589</b>	<b>9,848</b>

中間個別株主資本等変動計算書（2007年3月1日から2007年8月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本											評価・換算差額等				新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金			利益準備金	利益剰余金				自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	評価・換算差額等合計			
		資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計		買換資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金	利益剰余金合計									
2007年2月28日残高	30,079	51,550	2	51,553	5,482	32	114,709	12,714	132,937	△17,601	196,968	4,697	17	△11,012	△6,297	72	190,744	
中間会計期間中の変動額																		
剰余金の配当				—				△4,216	△4,216		△4,216							△4,216
中間純利益				—				9,848	9,848		9,848							9,848
自己株式の取得				—					—	△3,573	△3,573							△3,573
自己株式の処分			△0	△0						4	3							3
土地再評価差額金取崩額				—				0	0		0							0
別途積立金の積立				—			4,000	△4,000	—		—							—
株主資本以外の項目の 中間会計期間中の変動額（純額）			△0	△0	—			1,632	5,632	△3,569	2,062	△6,837	△49	△0	△6,887		37	△6,850
中間会計期間中の変動額合計	—	—	△0	△0	—	—	4,000	1,632	5,632	△3,569	2,062	△6,837	△49	△0	△6,887		37	△4,787
2007年8月31日残高	30,079	51,550	2	51,552	5,482	32	118,709	14,346	138,569	△21,171	199,030	△2,139	△31	△11,013	△13,184	109	185,956	

## Corporate Profile

### 会社の概要

(平成 19年9月1日現在)

社名	株式会社 <b>オンワードホールディングス</b> ONWARD HOLDINGS CO., LTD.
設立	昭和22年9月4日
資本金	300億79百万円
事業内容	純粋持株会社としてのアパレル、サービス、リゾート関連事業を営む傘下関係会社の経営管理およびそれに附随する業務
従業員数	30名
所在地	東京都中央区日本橋3丁目10番5号
主要関係会社	株式会社オンワード湊山 オンワード商事株式会社 チャコット株式会社 バスストップ株式会社 アクロストラנסポート株式会社 株式会社オンワードクリエイティブセンター 株式会社ブックレット 株式会社オンワードライフデザインネットワーク 株式会社オーアンドケー オンワードビーチリゾートグアムINC. ジェイプレスINC. ジョゼフLTD. ジボコーS.P.A. フリードオブロンドンLTD. 恩瓦德時尚貿易(中国)有限公司

### 取締役および監査役

(平成 19年9月1日現在)

代表取締役会長兼CEO	廣内 武
代表取締役社長	上村 茂
代表取締役副社長	馬場和哉
専務取締役	大沼 勉
常務取締役	吉沢正明
取締役	本庄八郎 中村嘉秀
常勤監査役	山本昭登 山根 功
監査役	小川恵一 矢部丈太郎

- (注) 1. 取締役 本庄八郎、中村嘉秀の両氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です。  
2. 監査役小川恵一、矢部丈太郎の両氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です。

## Stock Information

### 株式の状況

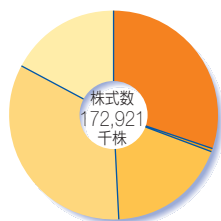
(平成19年8月31日現在)

発行可能株式総数	400,000,000株
発行済株式の総数	172,921,669株
株主数	9,645名

(注) 発行済株式の総数には、自己株式13,253千株が含まれています。

### 所有者別株式分布状況

	千株	%
金融機関	52,278	30.2
証券会社	871	0.5
その他の法人	31,931	18.5
外国法人等	58,107	33.6
個人・その他	29,734	17.2



(注) 個人・その他には、自己株式が含まれています。

### 大株主 (上位10社)

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	出資比率 %
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	8,894	5.5
財団法人 檜山奨学財団	8,710	5.4
日本生命保険相互会社	6,227	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	5,740	3.5
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	5,353	3.3
株式会社 伊勢丹	5,001	3.1
第一生命保険相互会社	4,200	2.6
株式会社 三井住友銀行	2,931	1.8
全国共済農業協同組合連合会	2,826	1.7
株式会社 三菱東京UFJ銀行	2,552	1.5

(注) 1. 当社は自己株式13,253千株を保有しておりますが、上記の大株主から除いています。  
2. 出資比率は、自己株式13,253千株を控除して計算しております。

### 株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月中
基準日	定時株主総会 2月末日 期末配当金 2月末日
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
同送付先	〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 お問合せ先 0120-232-711 (通話料無料)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店 野村證券株式会社 全国本支店
公告の方法	電子公告の方法により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。  公告掲載 URL <a href="http://www.onward.co.jp/">http://www.onward.co.jp/</a>

### 単元未満株式の買増制度のご案内

●

単元未満株式をご所有の株主様は、その単元未満株式の数と併せて1単元になる数の株式を当社に対して買増請求することができます。詳細につきましては、株主名簿管理人（証券保管振替制度ご利用の株主様はお取引の証券会社）までお問い合わせください。



当冊子についてのお問い合わせ先

**株式会社 オンワードホールディングス**

〒103-8239 東京都中央区日本橋3-10-5

TEL.03-3272-2312